

霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー活動報告書【9月分】

氏名	吉村 幸恵	2期生	E班	事業所名	グループホーム・小規模多機能ホームみどりの風
<p>① 地域の方々からの介護・生活相談 ○特になし</p> <p>② 自治会活動・地域ボランティア活動の参加・連携 ○9/23 世界アルツハイマーデー 家族の会パンフレット配布活動</p> <p>③ 介護予防教室、サロン、食事会・家族会等の開催 ○新地域のひろば（横川赤水地区） 9/1 開催 ○新地域のひろば（横川木浦地区） 9/6 開催</p> <p>④ 認知症サポーターの養成、小中学校への福祉教育、介護者教室の開催 ○9/14 霧島地区にて開催 市民向け講座 20名参加。 ○9/19 華人地区にて開催 市民向け講座 12名参加。 ○9/22 溝辺地区にて開催 市民向け講座 2名参加</p> <p>⑤ 班活動 ○9/21 総合福祉センターにて開催</p>					
<p>< 今後の課題等 ></p> <p>市民向け講座が始まりました。霧島地区においては、事業所の職員の参加で20名でしたが、地域住民は4名ほど、溝辺地区は2名でPR活動不足、もしくは時間帯が問題なのかと反省しています。先月始良広報誌では認知症サポーター養成講座の取組みについて特集があり、地域住民、小学生と一緒に徘徊模擬訓練をしている様子が写真入りで紹介されていました。最近ではTV等でも認知症について取りあげられていることが多く、『認サポ受けてますか』などというCMも目にしますが、福祉の仕事に携わっているから目に止まるのか、まだまだ一般の方には認サポがどういったことなのか周知されていないように感じます。世界アルツハイマーデーのパンフレット配布活動においても、たくさんの反省点がありました。ただ預かったパンフレットを短時間で配り終える…そんな活動に納得いかずに悶々とした気持ちで活動を終えたところでした。ぜひ、活動報告及び反省会をしていただき、来年度同じような活動にならないようにたくさんの方からの意見を聞かせてもらいたいです。</p>					

*翌月10日までに、霧島市地域密着型事業者連合会事務局に提出（郵送・メール・fax可）する事。